

ねこ村がプライベートでのお返し中。  
 荷づくり中に思いついた企画🐱再読しよう  
 しようよというおかげで再読してみました! 読ん  
 こと無一!! という  
 作品こそ  
 この機会に  
 どうぞ!!!

# 再読のススメ

## スコールNo.4 宮下奈都 (光文社文庫) ¥571 税抜

「今日が いい日になるのは  
 あたりまえだった」なんて、胸を「つん、」  
 としてくる言葉なんだらう。再読してもこの作品は  
 名作だった。本当は 妹の面倅りなめてみたくない  
 姉なんて、悪なんじゃないか。「あたりまえ」、て何  
 なんだ。なんの、誰の、どういう定義だ。昔も今も  
 私はちょっと 変あっていない。変あっていくことも  
 また、変あっていない私なんだ。

## 舟を編む 三浦しん (光文社文庫) ¥620 税抜

このイ作品を再読中に /イタミナでのアニメ化  
 小情報 がまあってきました。映画も観ており  
 どちらも (映画も原作も) 未だとても好きです。原作は  
 西岡さんのその人聞らしいじのうっりがありがとて良い。  
 作中にもありますが、時代は変化し、言葉も多様化して  
 いくものです。現代小説のあれこれを掲げ足とていくの  
 は、悪いとも良いとも思えず... 私は誰のせいでもない。  
 言葉は、生きているんだ、と思ひました。すなわち、本も。

## しずかな日々 木野月美智子 (講談社文庫) ¥495 税抜

私の父方の祖父は、私が中2のころに、  
 母方の祖父は 数年前に亡くなりました。  
 中2の夏に亡くなった祖父のことは、もう  
 さすがに毎日思い出すことはありませんが、この本は  
 最初の1ページだけで、私をタイムスリップさせ  
 ます。何度読んでもです。よく祖父は怒って  
 います。いつも怖い存在でしたが、笑うとシワがクマッて  
 いて、目元はとて優しかった。おじいちゃんに、会いたくなる。

## 銀二貫 高田郁 (幻冬舎文庫) ¥600 税抜

心にしめる本のうちの一冊。  
 辛くて悲しい心は、どの時代も  
 前を向くなんて、再び歩き出すなんて  
 もう無理なんじゃないかと、へこたれそうになり  
 たりきたら、この壁は果てなく横に長くて、迂回す  
 ことすらできそうにない...。しかしそんな壁はありせ  
 ん。来た道を戻ることで、方法のひとつですから。

2016 月号 vol.58

再読だ  
 こころ  
 よあし  
 今月はオモテウラ  
 画面特集とあり  
 いっ  
 ヤッポ  
 ー



文庫担当  
 ねこ村  
 だよ!!

今月も TSUTAYA 寝屋川駅前店より  
 情熱お送りいたします  
 またまたふんこです特別別、住野よる  
 話したい本の話ページを略してまた夢が  
 当店で配 布チュウ — !!

## 告白 湊かなえ (双葉文庫) ¥619 税抜

1度や2度の再読回数ではありません。しかし  
 何度も楽しめる(?)この小説。「湊かなえさんの、  
 デビュー作なんだよなあ」と思いながら読むと  
 また味が変わるスレメのような...え?スレメ?すいせんで  
 牛乳嫌いなもので(良い子は飲むように! 私は遠慮します!!)  
 子どもが大人になるときの、独特な残酷さ。未だにも  
 かつての記憶がある分、恐くなります。まだ読んでない  
 ティーンたちよ。映画はR指定あるけど小説には無いぞ。  
 感想は、大抵に、「すぐ読めた」のは感想 ちゃうからね! っ

## 少女 湊かなえ (双葉文庫) ¥619 税抜

あなたにとって「死」とは何ですか。  
 「死」とは遠く存在の人間こそ、畏怖の心  
 を持つ...とは限らない。憧れや、日常のスパイスにすら  
 しているのがもしれない。そう、実際あからない。他人の  
 考えることなんて50%すらも名がかるおけないのだ。  
 湊かなえの本は、この作品は破滅だ。うすいガラス  
 がビリビリ震えて割れてしまう。耐えて、耐えてと  
 願うのに、崩れる。救いもない。しかし、美しいので、困る。

